

アカルボース錠 50mg「BMD」 アカルボース錠 100mg「BMD」

【この薬は？】

販売名	アカルボース錠 50mg「BMD」 ACARBOSE TABLETS 50mg	アカルボース錠 100mg「BMD」 ACARBOSE TABLETS 100mg
一般名	アカルボース Acarbose	
含有量 (1錠中)	50mg	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、食後過血糖の改善剤で、 α （アルファ）-グルコシダーゼ阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、腸管でのブドウ糖の吸収を遅らせ、食後の血糖値が急激に上昇するのを抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

糖尿病の食後過血糖の改善（ただし、食事療法・運動療法によっても十分な血糖コントロールが得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な血糖コントロールが得られない場合に限る）。

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重いケトーシス状態（深く大きい呼吸、意識がなくなる、手足のふるえ）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人
 - ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
 - ・過去にアカルボース錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・妊娠または妊娠の可能性のある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・他の糖尿病用薬を使用している人
 - ・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人
 - ・胃腸障害のある人
 - ・肝臓に重篤な障害がある人
 - ・腎臓に重篤な障害がある人
 - ・ロエムヘルド症候群の人、重いヘルニア、大腸の狭窄（きょうさく）・潰瘍（かいよう）などがある人
 - ・高齢者の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アカルボース錠 50mg「BMD」	アカルボース錠 100mg「BMD」
一回量	1回 2錠	1回 1錠
飲む回数	1日 3回毎食直前	

- ・1回 50mg から使用を開始し、忍容性（アカルボース錠による副作用があらわれていても、十分耐えられ治療の継続が可能か否か）を確認しながら、1回 100mg まで増量されることがあります。
- ・高齢の人は、1回 50mg から開始されます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。食事の直前に飲み忘れたときは、食事中に1回分を飲んでください。食後かなりの時間がたっている場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・副作用として低血糖症状（脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸（どうき）、手足のふるえ、意識が薄れるなど）があります。このような症状があらわれたら、ブドウ糖を飲んでください。この薬を使用するにあたっては、患者およびご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・劇症肝炎などの重篤な肝機能障害があらわれることがあります。このような副作用はほとんどの場合、飲み始めてから6ヶ月以内にあらわれます。飲み始めの6ヶ月間は月1回、その後も定期的に肝機能検査が行われます。
- ・この薬の使用中に腹部膨満・鼓腸（腹がはる・ガスがたまっておならがでる）、放屁（ほうひ）増加などの消化器系副作用がおこることがあります。これらは時間が経つと消失することが多いのですが、ひどくなって耐えられない場合は医師に相談してください。
- ・この薬の使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・授乳中の人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	めまい、ふらつき、手足のふるえ、空腹感、脱力感、頭痛、動悸（どうき）、冷や汗
腸閉塞様の症状 ちょうへいそくようのしょうじょう	嘔吐（おうと）、むかむかする、排便・排ガスの停止、激しい腹痛
肝機能障害 かんきのうしょうがい	吐き気、嘔吐（おうと）、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、尿が黄色い、かゆみ、からだのだるい、食欲不振
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、尿が褐色になる。







同類薬であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
高アンモニア血症 こうアンモニアけっしょう	手のはばたき振戦、手足のふるえ、考えがまとまらない、どうしたらよいかわからない、ぼんやりする、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、脱力感、冷や汗、からだがだるい
頭部	めまい、頭痛、考えがまとまらない、ぼんやりする、意識の低下
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	動悸（どうき）、むかむかする、吐き気
腹部	空腹感、激しい腹痛、むかむかする、吐き気、食欲不振
手・足	手のはばたき振戦、手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
便	排便・排ガスの停止
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる
その他	どうしたらよいかわからない

【この薬の形は？】

販売名	アカルボース錠 50mg「BMD」	アカルボース錠 100mg「BMD」
形状	円形の錠剤   	割線を有する円形の錠剤   
直径	6.0mm	8.0mm
厚さ	2.7mm	3.1mm
重さ	100mg	200mg
色	白色～淡黄色	白色～淡黄色
識別コード	BMD8	BMD9

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アカルボース錠 50mg「BMD」	アカルボース錠 100mg「BMD」
有効成分	アカルボース	
添加物	トウモロコシデンプン、セルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社バイオメディクス

電話：03-3564-9200

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:30（土、日、祝日を除く）